

種 別	昭 和 46 年 度			昭 和 45 年 度			比較増減 (45年度を100とする)			
	件 数	金 額	1件当り 給 付 額	件 数	金 額	1件当り 給 付 額	件 数	金 額	1件当り 給 付 額	
	件	円	円	件	円	円	件	円	円	
内	高等専門学校									
内	幼稚園									
内	保育所									
死	亡	4	1,200,000	300,000	7	2,100,000	300,000	57	57	0
内	小学校	2	600,000	300,000	2	600,000	300,000			
内	中学校				1	300,000	300,000			
内	高等学校	2	600,000	300,000	3	900,000	300,000			
内	全日制									
内	定時制									
内	通信									
内	高等専門学校									
内	幼稚園				1	300,000	300,000			
内	保育所									

4. 学校安全普及充実事業

(1) 学校安全に関する研究学校

学校安全に関する研究学校として下記の学校を依頼した。

学 校 名	研 究 テ ー マ	依 頼 期 間
◎福島市立 杉妻小学校	情緒の安定にねぎした望 ましい安全教育のすすめ 方について	昭和45、46年 度2年間
○福島県立 福島工業高等学校	高校生の交通安全教育 はどうすればよいか	昭和46、47年 度2年間

◎印は日本学校安全会 ○印は福島県支部の依頼

(2) 学校安全優良学校の表彰

学校安全の指導及び管理に優秀な実績をあげている学校を表彰した。

優良校の選定については、審査会を開催し、学校安全優良学校等表彰実施要領に基づいて推薦された学校について審査し決定した。

表彰は9月8日、いわき市において開催した第19回福島県学校保健安全研究会大会会場にて実施した。

学 校 名	校 長 名	教 職 員 数	学 級 数	児 童 生 徒 数	推 薦 者
○福島市立金谷川小学校	鈴木 彦衛	15	12	332	県北教育事務 所 長
○郡山市立金透小学校	菊地 孝	24	19	786	県中教育事務 所 長
○会津若松市立永和小学校	新国 新吾	16	8	262	会津教育事務 所 長
○南郷村立大宮小学校	川上 良男	11	6	228	南会津教育事務 所 長
○いわき市立平第六小学校	中村 善吉	24	18	579	いわき教育事務 所 長
○富岡町立富岡第二中学校	小野田宗郎	20	9	310	相及教育事務 所 長
○白河市立小田川小学校	添田 正己	10	8	226	県南教育事務 所 長

(3) 第19回福島県学校保健・安全研究会の開催

県教育委員会、いわき市と共催で下記により実施した。

① 期 日

昭和46年9月8日(木)・9日(木)

② 会 場

いわき市立湯本第三中学校

③ 主 題

《変ぼうする社会をたくましく生きぬく児童・生徒を育てよう》

④ 特別講演

《学校保健をめぐる諸問題》

文部省体育局学校保健課教科調査官 能美光房

⑤ 実施内容

研究発表、班別研究協議、公開授業

⑥ 参 加 者

小・中・高等学校、幼稚園、保育所の教職員、PTA、学校保健安全関係者約400名

(4) 学校安全会事務説明会

市町村教委、私立学校等の安全会事務担当者を対象とし、昭和47年度から実施される共済掛金の改訂ならびに安全会事務全般について下記により開催した。

郡 山 市	11月4日(木)	会津若松市	11月5日(金)
いわき市	〃 8日(月)	原 町 市	〃 9日(火)
福 島 市	〃 11日(木)		

(5) へき地学校に対する救急薬品材料の支給

医療機関に恵まれないへき地学校に対し、救急薬品材料の支給を行なった。支給薬剤及び支給学校名は下表のとおりである。

支給学校数及び配布個数

教育事務所名	番号	市 町 村 名	学 校 名	支 給 個 数
県 中	1	天 栄 村	羽鳥小学校黒沢分校	1
	2	古 殿 町	大久田小学校高房分校	1
県 南	3	鯨 川 村	青生野小学校	3
	4	鵜 塚 町	片貝小学校矢塚分校	1
会 津	5	会津若松市	東山小学校一の渡戸分校	1
	6	〃	〃 中湯川分校	1
	7	熱塩加納村	加納小学校大平分校	1
	8	〃	宮川小学校五枚沢分校	1
	9	北塩原村	裏磐梯小学校雄子沢分校	1
	10	山 都 町	山都第一小学校第三分校	1